

授業科目の区分等：教職科目 教育の基礎的理解に関する科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
菅原 亮芳			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	菅原亮芳(単独) 教育の基礎的理解に関する科目 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)を理解し、表現する。 [テーマ]「教師のしごととは何か、望ましい教師とは何か」
授業計画	<p>第1回 【遠隔】オリエンテーション/授業の概要と目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習(時間):シラバス熟読(30) 復習(時間):本科目の内容確認(30)</p> <p>第2回 【遠隔】学校教員の志望理由とは/使命感・教育愛・責任感 予習(時間):教科書(頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第3回 【遠隔】教職の意義と教員の役割/教職とは何か、教職の意義、教員の役割 予習(時間):教科書(19-31頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第4回 【遠隔】理想の教師像の歴史/伝統的教師像・教職観と教師像の変遷、理想の教師像 予習(時間):教科書(32-53頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第5回 教員の任用とサービス(1)教員の身分と任用 予習(時間):教科書(73-87頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第6回 教員の任用とサービス(2)教員のサービス 予習(時間):教科書(73-87頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第7回 教員の任用とサービス(3)身分保障と分限・懲戒・体罰 予習(時間):教科書(73-87頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第8回 教員の役割と仕事/教員の仕事内容と実際、授業を創る、カリキュラムをデザインする 予習(時間):教科書(73-87頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第9回 教員の職場環境/教員の多忙観、同僚性、協働性、「チーム学校」への対応 予習(時間):教科書(91-113頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第10回 【課題】教員の資質向上と研修(1)教師に求められる資質・能力とは 予習(時間):教科書(153-172頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第11回 教員の資質向上と研修(2)力量形成・職能成長研修(生涯にわたって学び続ける力) 予習(時間):教科書(153-172頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第12回 教員養成の歴史と現状/戦前と戦後との教員養成制度と教員免許制度改革 予習(時間):教科書(54-72頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第13回 【課題】教職への適性と進路選択/教職への進路選択、教育実習、教員採用選考試験 予習(時間):配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第14回 【課題】先輩教師の遺産/無着成恭、齊藤喜博、東井義雄、有田和正等 予習(時間):配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)</p> <p>第15回 全体のまとめ/教師を目指す人々のために教員の今日的課題について考える 復習(時間):学習内容の総まとめ(120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	商学部 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力
到達目標	(1) 教職の意義と教員の役割、職務内容(研修・サービス・身分保障、「チーム学校」への対応)について理解し、概要及び要点を説明できる。(2) 教師を巡る諸課題(資質・能力等)とその対応についての知識や技術を理解し、概要及び要点を説明できる。(3) 教職への適性進路選択に向けて考えることができる。(4) 意欲と志を抱き教師のあり方について自分なりの考えを持つことができ、求められる教師像について考えることができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題に必要なに応じて適宜手直しし指導助言し返却することもある。
履修上の注意	(1) 講義及び課題についてのグループ協議・演習・ディスカッション・発表等により授業を進める。 (2) 教職の意義と役割、サービス・身分保障等の教員の職務内容について基本的な知識を身に付けることを目的とする。

成績評価の方法・基準	①最終レポート（定期試験として）60%、②レポート課題30%、③学修意欲10%
教科書	高等学校学習指導要領・平成30年3月・文部科学省 教職論・吉田武男・ミネルヴァ書房・2420円
参考書・教材	【参考書】【教材】各年度の「検証・教育実習」・高崎商科大学を常に携帯すること
備考	2020年度は、10、13、14回を課題研究として学修する。 講義科目 第10回「教員に求められる資質・能力とは何か」、第13回「教職への進路選択とは」、第14回「先輩教師の遺産とは」につきそれぞれ具体的なテーマを設定し、資料を調べて、文章を作成し、レポート形式で提出すること。800～1200字程度をめどとする。但し第14回の課題研究では各人物の履歴と彼等が抱いていた人生の課題については必ず項目を設定して文章化すること。第10、13、14回、それぞれは全体で330分の学修を想定している。 「定期試験」は「最終レポート」である。実施方法の詳細と評価規準は第1回で概要を授業等で告知する。
教員との連絡方法	オフィスアワー